

光沢面・金属面に強い！
『カラー光切断法』による三次元画像処理検査装置

Makros-Opt. 誕生！





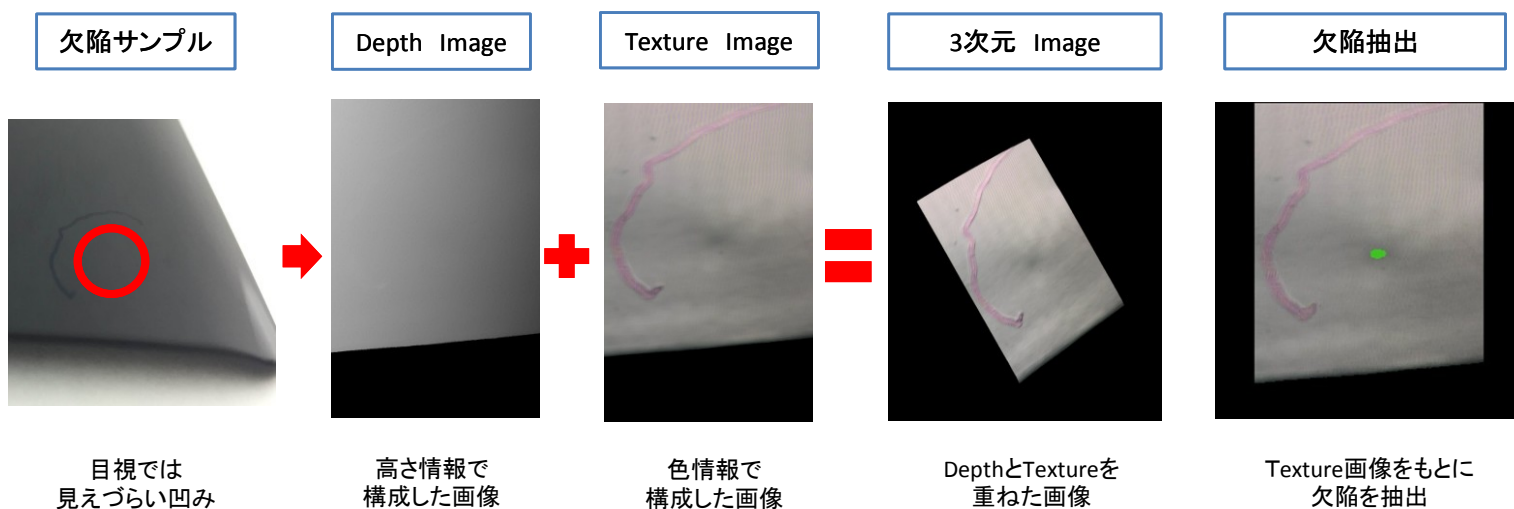
～Makros-Opt. の特徴～

- シーシーエス(株)のLEDスリット照明と(株)アパールデータ独自の画像処理アルゴリズムを組み合わせ「カラー光切断」を実現
- 金属・光沢面において、スペックルノイズを含まない安定的な画像を取得
- レーザー光より安全なLEDを使用
- LEDスリット照明とエリアカメラで鮮明な色情報と高さ情報を取得

従来の光切断による画像処理は、金属・光沢面で画像にノイズが多く、鮮明にうつらない問題がありました。また、レーザーによる光切断法では、金属や光沢がある製品の画像の一部に「ノイズのようなギラつき」が発生し、画像処理が難しいケースがありました。

このような問題を本システムで解決！

白色LEDのスリット照明を使用することで、よりフラット、よりシャープで鮮明な3D画像を実現。CCDカメラによる鮮明な撮像と高速のデータ処理技術により、高速な製品検査が可能です。



■ 仕様

撮像領域	A4サイズ相当(デモ機)
測定精度	X軸搬送ステージ 2μm
撮像光学系分解能	10μm程度
カメラフレームレート	モノクロ:320fps カラー:100fps
照明	白色LEDスリット照明
対象ワークサイズ	最大測定視野 X-Y (210mm × 297mm) 高さ(H)160mm
高さ最大分解能	10μm
画像検査	(株)アパールデータのライブラリから取得した画像をEURESYSやHALCONによって画像処理を実現